



第2号 学校だより

令和5年 10月
県立岩戸支援学校
横須賀市岩戸 5-6-5
☎:046-839-4500
FAX:046-849-3200

■学校長あいさつ

2学期に入りましたが、気がつけばすでに1ヶ月がたちました。この夏の「災害級の暑さ」もようやく終わりを迎え、少しずつ秋の深まりを感じられるようになりました。本当にこの夏の暑さは『記録と記憶』に残るものだったように思います。

さて、岩戸支援学校では去る9月16日(土)に「岩桜祭(いわおうさい)」(文化祭)を開催しました。後述の記事にもありますが、4年ぶりに何の制限も設けることなく、当日は保護者やご家族、地域の方々、卒業生など約600名の来校者をお迎えし、にぎやかで活気のある文化祭となりました。特に卒業生の中には文化祭に4年間来ることができず寂しい思いをしてきた人も多く、先生や旧友との4年ぶりの再会を心から喜んでいました。文化祭主役の現役在校生もたくさんのお客さんに励まされ、暑さにも負けず、練習や準備の成果を思う存分発揮できたと思っています。「皆さんなら、やればできる!!」この言葉をキャッチフレーズに生徒全員ががんばりました。この紙面をお借りし、ご来場された方々にあらためて感謝申し上げます。

コロナ5類移行に伴い、今後は文化祭だけでなく今まで難しかった地域の方々との交流や連携をさらに拡大していきたいと考えています。その一環として、10月16日から岩戸中学校で開催される「岩戸町民文化展」では、本校生徒が職業の授業等で作製した作品や製品も初めて展示させていただきます。ぜひご覧いただければと思います。

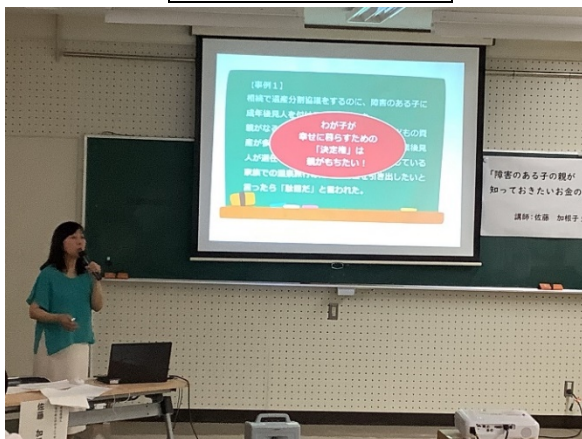
今後も地域とともにある開かれた学校としてどうぞお願いします。(学校長・安藤 徹)

■夏季公開講座について

夏休み中の7月27日(土)に令和5年度夏季公開講座を開催しました。第一部は、「障がいのある子を持つ親が知っておきたいお金の話」とのテーマで保護者向け講座を行い、第二部は、「小中学校でやっておくべき準備(卒業後の進路決定に向けて)」とのテーマで、近隣の小中学校支援級教職員・保護者向け講座を行いました。

第一部では、佐藤加根子氏(「親なきあと」相談室神奈川ネットワーク主宰)を講師にお招きし、母親目線でのお話や18歳成人制となった現在の課題など、具体例を挙げながら講演をしていただきました。第二部では、鈴木貞久氏(パーソルダイバーズ(株)よこすか・みうら岬工房チームリーダー)を講師にお招きし、就労を目指す生徒にとって「家庭で取り組むとよいこと」、「小中学校で取り組むとよいこと」などのテーマを設けた、本校教職員とのディスカッション形式での講演をしていただきました。参加された皆様からは、「親の気持ちに寄り添った内容で分かりやすかった。」、「学校生活で取り組ませたいことで、折り紙が挙げられていたことがとても参考になった。」などの感想をいただきました。また、講演後にも参加された多くの方々から講師の先生方に、熱心に質問されるなど、とても有意義な講演となりました。

第一部の講演の様子



第二部の講演の様子



■学校環境整備事業について

夏休み中の8月28日(月)に学校環境整備事業を行いました。学校環境整備事業は、教職員や生徒、保護者、地域の方が共に学校の環境整備を行うことで、「地域と協働した学校づくり」、「生徒理解や障害理解」につなげることを目的に行っています。当日は、生徒2名と保護者1名、地域の方3名に参加していただき、昇降口に設置する「すのこ」を製作しました。老朽化したすのこを新しいものに変え、新学期を迎えることができました。暑い中参加していただいた皆様、本当にありがとうございました。

当日の作業の様子



完成したすのこを設置しました。



■岩桜祭(文化祭)について

「みんなで元気よく、友情を大切に輝かせる楽しい岩桜祭にしよう」をスローガンに、9月16日(土)に岩桜祭を行いました。コロナ禍以降では初めて、入場者の制限を設けない公開となったため、大変にぎやかな岩桜祭となりました。生徒企画では、光・音・風を気持ちよく感じてもらうための「癒しの教室」をつくったり、様々なゲーム的要素を取り入れて、お客様に楽しんでもらおうとしたりするなど、工夫を凝らした企画が行われました。

来校していただいた皆様には、「(企画が)よくできていますね。」、「とても楽しかったです。」など、生徒たちの充実感や今後の意欲につながるような、たくさんの声をかけていただきました。ありがとうございました。

生徒企画・きもちAえ!



生徒企画・決闘者(デュエリスト)カードの館

